

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2019

春

No.41

# JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人  
上越教育大学  
Joetsu University of Education

学園だより

特集

## 更なる飛躍にむけて

上越教育大学創立40周年記念式典挙行  
記念講演会及び記念祝賀会の開催



伝統的な技法の中にも  
新しい発見がある



# 研究室

## ようこそ

### 陶磁器制作

陶磁器における染付技法を中心に作品制作を行っています。染付とは、白磁にコバルト顔料で文様を描くことで、中国の景德鎮で始まり世界中に伝わった技法で、日本でも愛され続けている陶磁器の一つです。私は韓国出身で、地元で大学院で陶芸を学びました。その後日本に留学して大学院に進学しました。韓国も陶芸は盛んでしたが、大学の教育ではオブジェが主流でした。陶芸家である叔父の勧めもあり、日本の伝統工芸に興味を持ちました。私が進学した愛知県立芸術大学では染付の教育が盛んで、在学中は陶芸の基本となる器を中心に制作しました。大きな皿や壺、小さな急須や湯呑など、様々なものを作りました。伝統的な技法の中にも、新しい発見がある陶磁器制作に夢中になってきました。

### 工芸の魅力

先日、柏崎市にある木村茶道美術館で茶席体験をする機会がありました。こちらの美術館では、収蔵作品でお茶をいただくことができます。

### 俞 期天 (ゆ きちよん) 学校教育研究科芸術系教育実践コース 助教

出身地は韓国 大邱市。愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻修了(博士(美術))。大学院を修了後、愛知県立芸術大学で美術学部の非常勤講師、教育研究指導員。2018年1月から現職。専門は工芸(陶芸)。東海伝統工芸展にてNHK名古屋放送局長賞、名古屋市教育委員会賞受賞、日本陶芸展、陶美展、日本伝統工芸展、菊池ピエンナーレ入選。



### 学生の皆さんへ

陶芸には様々な工程がありますが、一番の楽しみは窯出したと思います。思い通りにならないことが多いですが、その中で成功していたり、意外な発見があったりすることが次の制作への原動力になります。それから、陶芸で大切なのは粘土の特性を理解することです。粘土にはそれぞれ個性があるので、成形方法にも影響が出てきます。それを知るには経験を積むことだと思います。授業のカリキュラム内では、どうしても時間が限られてしまいますので、興味のある人は授業時間外でも気軽に訪ねて来てください。できる限り対応したいと思っています。

桃山時代の黒織部茶碗や奥高麗など、普段はガラスケースの向こう側にある作品を手にとることができて、とても感動しました。工芸の魅力は鑑賞するだけではなく使う楽しみもあることを改めて実感しました。また、日本では工芸が芸術の一分野として大切にされているように感じています。それは日本の文化と深い関わりがあるからだと思います。



## 夢に向かって走り続けた4年間

私は小学生の頃から「先生になる」という夢があり、高校の担任からぴったりの大学があると薦められて上教大を受験することを決意しました。入学してからは「さすが、先生になりたい人のための大学!!」と思うことばかりでした。

### 教育大学ならではの教育実習

上教大を語る上で欠かせない魅力の1つに教育実習が挙げられます。私は、小学校実習と中学校実習を経験しました。特に小学校実習は私にとって夢をかなえるための大きな一歩となりました。上教大の教育実習は、1年次から4年次まで体系的に編成されています。3年次の初等教育実習は、5月に観察実習を行った後、教材研究の期間を経て9月に本実習を行います。初めての長期間の実習で不安だらけでしたが、教材研究の期間がしっかりと設けられているため、丁寧に授業を考えた上で本実習に臨むことができました。最初の1週間で学校の生活に慣れ、残りの3週間で実際に教壇に立ち授業をしました。至らない部分があったかと思いますが、大満足の教育実習を経験することができました。

### 就職支援の充実

私は4年次の夏に教員採用試験を受験しました。3年次の10月に受験勉強を始めましたが、何をしたいのか、どんな受験科目があるのか全く分からないままスタートしました。そんな中、私の支えとなり力を貸してくれたのがプレイスメントプラザです。ここでは、自分一人ではできない受験対策をコーディネーターの先生に教わりながら行いました。10月に通い始め、受験が終わる8月まで毎週通い面接や論文を特訓してもらったおかげで、本番では力を出し切ることができました。

今年の春からは教員として子どもたちの前に立つこととなります。ここに書き記したこと以外にも、大学生活ではたくさんの人と出会い、たくさんの人を借りて夢をかなえるために自分を成長させることができました。この4年間、上越で身に付けた力をもとに春から多くのことに挑戦していきたいと思っています。



学部4年  
生活・健康系コース(家庭)  
小林 瑞姫 さん

# 更なる飛躍にむけて

上越教育大学創立40周年記念式典挙行 記念講演会及び記念祝賀会の開催

## 上越教育大学 創立40周年 記念式典を挙行

平成30年10月6日(土)に創立40周年記念式典を本学講堂で挙行了ました。

当日は、文部科学省高等教育局 国立大学法人支援課長 淵上孝氏をはじめ、300人を超える教育関係者、本学関係者にご臨席いただきました。

式辞では川崎直哉学長が、創立40周年を契機とし、更なる飛躍に向けた誓いの言葉を述べました。続いて、文部科学大臣、新潟県知事、地元上越市長から、ご祝辞を賜りました。その後、本学が主催する辰野千壽教育賞の表彰が行われ、今回が第11回となる同教育賞には、全国の公立学校教員等から応募があり、優秀賞2人、奨励賞1人が表彰されました。



村山秀幸上越市長 祝辞



川崎直哉上越教育大学長 式辞



創立40周年記念木彫

記念式典に先立ち、40周年記念として 峯田敏郎氏(本学名誉教授)制作による木彫作品「記念撮影」J 40 防波堤・西風の中で」の除幕式が講堂エントランスにおいて行われました。

川崎学長の挨拶と峯田敏郎氏の簡単な紹介の後、川崎学長・峯田敏郎氏・学部生代表松川雄哉さん・院生代表瀧本真央さんの4人により、除幕が行われ、作品がその姿を現しました。風の中で防波堤に立っている女性の姿は峯田先生の思いを表し、それは、今後どんな風が来ようとも、上越教育大学として教育の本質を見据え、毅然として進んでいくという思いと表わされた。作品の中に、上越教育大学のJと40周年の40も描かれており、意味ある記念作品の設置となりました。



木彫除幕式の様子

## 第11回辰野千壽教育賞受賞者を表彰

平成30年10月6日(土)に本学講堂で挙行された上越教育大学創立40周年記念式典において、本年度で第11回となる辰野千壽教育賞の表彰が行われ、各受賞者に表彰状が授与され、副賞が贈呈されました。

辰野千壽教育賞は、初代学長である故辰野千壽先生の長年にわたる教育・研究業績の精神を受け継ぎ、我が国の教育に多大な影響を与える優れた教育・研究の振興に貢献するため、平成20年度に上越教育大学創立30周年を記念し、創設されました。本教育賞は、初等中等教育諸学校等(幼稚園、小学校、中学校、義務教

育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び保育所等)の教育現場における特色ある実践研究及び先進的取組を讃え、更なる発展に向け積極的に支援することを目的としています。

今回は、創立40周年を記念して、これまでの最優秀賞、優秀賞に加えて、将来性に優れた若手教員等を表彰するため奨励賞が新たに設けられ、募集が行われました。全国の公立学校教員等から応募があり、学外の有識者を含む辰野千壽教育賞選考会議において選考を行い、優秀賞2人、奨励賞1人の受賞者が決定されました。



左3人目から川崎直哉学長、受賞者の河野辺貴則さん、楠井晴子さん、西井孝明さん、新井郁男辰野千壽教育賞選考会議議長



各受賞者への表彰状授与  
河野辺さん(左)、楠井さん(右上)、西井さん(右下)

	氏名等(敬称略)	主題及び副題
最優秀賞	該当者なし	
優秀賞	河野辺 貴則 (東京都調布市立富士見台小学校 主任教諭)	参加型人権学習「ランキング」における学習者の認識形成過程に関する実践研究
	楠井 晴子 (大阪府東大阪市立孔舎衛小学校 教諭)	自己の内面を表現する意欲と生きる力を育成する思春期の子どもたちの生活を基盤とする「生活のうた」づくり実践 ~日本の伝統音楽の要素を用いて~
奨励賞	西井 孝明 (三重県立稲葉特別支援学校 主幹教諭)	特別支援学校における支援体制の強靱化に向けた取り組み ~特別支援教育コーディネーターを中心とした「チーム稲葉」の実践~



エネルギーに語る新井紀子氏

## 創立40周年記念講演会

創立40周年記念講演会として、国立情報学研究所社会共有知研究センター長・教授などを勤められている新井紀子氏による御講演が行われました。新井氏は、数理論理学を専門とされています。本講演の演題は、「AIが大学入試を突破する時代の社会変化」でした。AIの技術を活用し東京大学に合格する力を目指した「東口ボくん」の「学習」をする仕組みや、人とAIとの差別化を図ることに「AIは数字で数式におきかえることができる論理的、確率的、統計的に言える事には対応できます。しかし、意味を認識することは苦手です。よって、人間がAIとの差別化を図るためには、文章の中の語句や文脈を考えることができる読解力が大切になります。ところが、そのような読解力が不足し教科書が読めない子どもたちが存在します。」新井氏は、来るべき社会に向けて子どもたちが読解力を身につけることができるような教育が大切であるとお話されました。



全体会の開会式

## ◆ 創立10周年記念講演

テーマ「学校改革の方向性を考える」

藤田 武志教授（日本女子大学）  
※教職大学院創立時に本学在任

## ◆ 修了生発表

テーマ  
「教育現場の今、そして教職大学院での学びをどう生かしているか」

高橋 瑞人さん（平成24年度修了）・  
石山 崇さん（平成29年度修了）

## ◆ ホームカミングタイム

入学年度ごとに近況報告や情報交換を行いました。

## ◆ ゼミカフェ



懐かしいゼミの修了生仲間、現在のゼミ生、教員が集い、修了生の話題提供あり、議論あり、フリートークありの楽しいカフェタイム。修了生は学校現場でどのように学びを生かしているのか、学校支援プロジェクトや個別の課題研究をどのように進めていくべきか、熱い議論が交わされました。

全国に先駆けて設立した上越教育大学教職大学院は創立10周年の節目の年を迎えました。修了生のフォーリアップを主な目的として毎年開催してきたフォーリアップ研修会（2017年よりフォーリアップセミナーと改名）は、9回目。修了生、在學生、教員が集い、語り合う懐かしいひとときを過ごすとともに、理論と実践の融合をめざして、教育現場との協働的な実践・研究を展開し

● 参加者数  
修了生 56名 在學生 96名  
教員 23名 旧教員 4名  
計 179名

## 上越教育大学教職大学院創立10周年記念 フォーリアップセミナー2018

つながり合い 学び続ける — 理論と実践の融合を求めて —

できたこの10年の足跡を振り返りました。また、カリキュラム・教育研究の質の向上に向けた新しい視点を探り、新しい明日に向けて再び歩み出す力を得る会となりました。



## 創立10周年 フォトギャラリー 「10年の歩み」展

主なできごとやメンバーの写真を中心に10年の歴史を回顧しました。

平成30年10月7日（日）開催  
会場 上越教育大学  
主催 上越教育大学  
教育実践高度化研究会

## 創立40周年記念祝賀会

平成30年10月6日（土）17時30分より、デュオ・セレッツ（上越市西城町）において、創立40周年記念祝賀会が催されました。

地元の国会、県議会、市議会議員の方々を始め、関係大学の学長、また県内の小・中・高の校長、振興協力会の会員の皆様、そして、本学関係の教職員など、約210名の出席による心温まる祝賀会となりました。短い時間ではありましたが、新しい出会いや、久しぶりの再会を喜びながら、40年の歴史を振り返り、さらに本学の今後を語り合うよい機会となりました。



盛大に催された祝賀会の様子



講堂エントランスでの記念美術展覧会

大学内のPOTATOでは、関連企画展示として「国際交流展覧会2018 A3プロジェクト」選抜展示が行われ、北京清華大学（中国）、清華大学（台湾）、カレル大学（チェコ）、内蒙古民族大学（中国）、西北師範大学（中国）と本学の6大学に在籍する教員と学生の作品が展示されました。

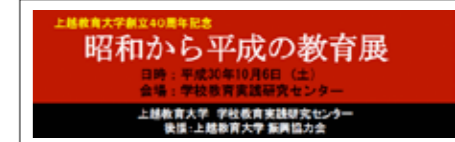
平成30年10月6日（土）、7日（日）に本学講堂エントランスで、創立40周年記念美術展覧会が開かれました。美術展覧会には、芸術系教育実践コース（美術）の美術教育、絵画、彫刻、デザイン、工芸を専門とする7名の教員の作品が展示されました。美術教育では、阿部靖子教授の木を素材とした「ハツケヨイ!!」と、五十嵐史帆准教授の造形作品「Ring+Gran」が出品されました。絵画では、洞谷重里佐教授の日本画「日本海」「歴」と伊藤将和准教授の油彩画「イメージとしての器須弥山2015」が出品されました。彫刻では松尾大介准教授のブロンズと木を組み合わせた「太古の宇宙船「588210」」が出品されました。デザインでは安部泰准教授のボスターと原画それぞれ3点の作品と上越教育大学ロゴデザインが出品され、工芸では齋藤天助教の「白磁鉢」と染付技法による「蓮文壺」の陶芸作品が出品されました。



講堂ステージでの記念コンサート

平成30年10月7日（日）本学講堂で、創立40周年記念コンサートが開催されました。コンサートには、芸術系教育実践コース（音楽）の実技を担当する教員、及び大学院2、3年の音楽研究セミナー、音楽研究セミナーに所属する大学院生が出演しました。主な演目として、阿部亮太郎教授による創立40周年を記念した新作《大学祝典序曲「臨床の水脈」》と、長谷川正規准教授によるテューバ独奏で、布施美穂氏（本学非常勤講師）作曲の《テューバとピアノのための4つの小品》が初演されました。また、上野正人教授によるバリトン独唱では後藤丹本学名誉教授の歌曲も取り上げられ、他には、大学院生の李泉さん、田部葉さん、吉福拓紀さんによる独唱と二重唱、柳澤大希さんによるサクソフォン独奏、石井宥輔さんの独奏によるピアノ協奏曲（オーケストラパートピアノ・平野俊介教授）が演奏されました。

## 創立40周年記念企画 昭和から平成の教育展



平成30年10月6日（土）開催



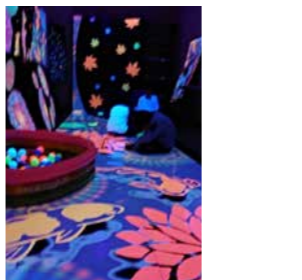
上越市民の大誘致運動の成果によって設立された上越教育大学です。市民と共に40年の歩みを振り返りたいと考え、特別セミナーと映写会を行いました。また、昭和から平成にかけての教材教具、教育文化資料の展示やスヌーズレンルールの公開も行いました。記念の特別セミナーでは、寺田喜男元特任教授から「上越地域の教育風土を育んできたもの」、光永伸一郎教授から「発酵のまち上越」のご講演をいただきました。参加してくださった方からは、「私たちが何を継承し、どこへ向かっていけばいいのかを考えるきっかけとなった。」「教育とは違う仕事をしていますが、それぞれの場所で発見と学びがありました。今日は来ることでよかったです。セミナーの中もゆっくり知ることができました。」という感想をいただきました。



各学校の研究紀要や閉校記念誌の展示



様々なPCを含む視覚機器の展示



公開したスヌーズレンルーム

Happy Holidays!

「上越で過ごすステキな休日」

をテーマにオススメスポットを紹介します!

アンバサダー  
「大使」を意味する英語の「Ambassador」が語源。近年は「商品や地域の魅力を楽しみながらSNSなどで積極的に発信する人」という意味でも使用されるようになった。

わたしたちアンバサダー!

※本誌の企画上のもので、上越市等からの依頼によるものではありません。



Amusement  
上越市立水族博物館  
うみがたり

たくさんかわいい動物たちに癒されます!



- ①まるで水中の魚たちになった気分!
- ②スポットライトで照らされてキレイ
- ③インスタ映えスポット! どこでしょう??



AQUAコースター 1,080円(税込)

お土産にオススメ!  
私たちお気に入りのステキなコースター!

Restaurant

麺屋 しょうじ

- ①つけ麺 850円(税込) なんと! 大盛無料!
- ②肉みそらーめん(期間限定) 980円(税込)
- ③赤こってりラーメン 900円(税込) ▶



柔らかくて食べやすいチャーシューで大満足の一杯です! 上越の数あるラーメン屋さんの中でも、私たちが自信をもっておすすめできるラーメン屋さんのひとつです!

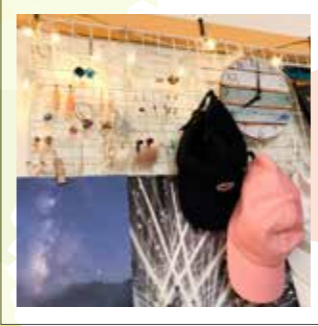
◀ん〜! たまらなあ!!

Sweets

レ・ドゥー

たくさん種類があり迷いました! 期間限定のものもあり、季節ごとに楽しめます! 濃厚で上品な味わいです。

- ①ガナッシュ 360円(税別)
- ②バスクチーズケーキ 340円(税別)
- ③いちごのプリュレ(期間限定) 360円(税別) ▼



Life  
オシャレタイム

◀100均の金具と電飾でこんなにオシャレな空間がつけちゃいます!

自分だけのお気に入りのスペースが作れちゃうのも、一人暮らしのいいところ!! 毎朝の身支度も楽しく!!

Cafe

COLT DELI & CAFÉ

Wi-Fiとコンセント完備で過ごしやすさ抜群! スーパーの中にあるため、帰りにお買い物もできちゃいます! ▶



フレッシュジュース ブルーベリー ▶ 380円(税抜)

The ブルーベリー!! まるでブルーベリーを飲んでいるような濃厚さ! 果肉入りなんです!!! もちろんパンケーキも最高! ふわふわ食感がたまりません! 卵たっぷり幸せたっぷり! 他にもベリーやキャラメルバナナ、ティラミスがあります!

▲プレーンパンケーキ シングルサイズ 380円(税抜)

見た目がかわいく、ぽってり♡ミルクが濃厚なのに後味スッキリで口の中ですとろけます。コーンの最後までクリームたっぷりです!

- ロイヤルソフトクリーム ▶ オススメ!!
- ①プレーン 370円(税抜)
- ②ココア 380円(税抜)
- ③抹茶 380円(税抜)



Life  
パパッと5分レシピ (なんちゃって) フレンチトースト

- 【材 料】  
○卵 1~2個 ○牛乳 大さじ3  
○砂糖 小さじ2 ○食パン 1枚

- 【つくりかた】  
①マグカップに食パン以外の材料を入れて混ぜる。  
②食パンを1口サイズにちぎってひたす。  
③レンジ約3分で完成!  
※レンジで温めの際は、パンが飛び出すことがあるため適宜見ておく。



甘さ控えめのため、お好みでシロップをかけるとおいしいです! 時間のない朝にぴったり!

Cafe

タリーズコーヒー 高田西店

とても良い雰囲気です! 読書や勉強などにもぴったりです! コンセント完備で、快適な空間のため、私たちがよく利用しています! 期間限定メニューが多いため、いつ来ても新しいメニューが楽しめます!



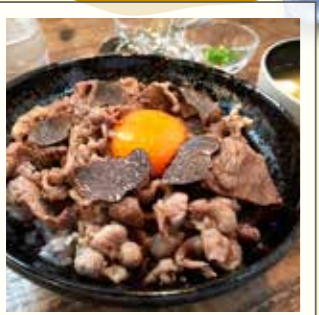
- ①ミルクフラットホワイト tall 500円(税込)
- ②ハニーミルクラテ tall 460円(税込)
- ③黒糖きなこ抹茶ラテ(販売終了) tall 550円(税込) タビオカトッピング +100円(税込)

Restaurant  
COLT aging beef & grill



▲おいしそうな香り! wakuwaku!!

ふたを開けたときの芳醇な香りがたまりません。ご飯の中にタレがしみ込んでおり、味がしっかりありつつも牛肉のおいしさを存分に感じられます。まさにお口の中が大地の芸術祭!



▲プレミアム和牛飯 (限定10食) 1,580円(税込)

熟成肉入り!! 牛100%ハンバーグ (限定7食) 1,480円(税込) ▶

切った瞬間...肉汁の贅沢な光景が飛び込んできます。モはや牛肉のスイーツ!



編集後記

上越での理想的な休日はまさに最高の1日でした! 3人で実際に過ごしてみて、大満足しています!

- 坂詰 晶楽 学部3年 臨床心理学コース
- 越坂 亜美 学部3年 芸術系コース(美術)
- 荒川 夏子 学部3年 言語系コース(英語)

Amusement  
カラオケまねきねこ 上越木田店

ソフトドリンクバー付きなので何時間でもいれそうです!(笑) なんと! アイスクリームもあります!



## 大学間連携による教員養成の高度化

大規模な教職大学院を有する本学は、教育・研究で得られた知見や成果を新潟県上越地域に留めることなく、広く社会に還元・普及するため、東日本の大学を中心とした国公立大学との間で教員養成の高度化に向けた連携・協力体制を構築すべく、大学間連携協定の締結を進めています。

本学では、連携協定を締結した国公立大学(以下「連携大学」という。)から、教養教育、外国語教育、理工系等様々な分野における学問的な幅広い知識や深い理解を強みとする学生を本学の大学院に受け入れ、開放制による多様性と融合した教員養成の高度化を実現し、他の国立教員養成大学とは異なる特色を持つ高度専門職業人としての教員の養成に取り組むこととしています。

その取り組みを通して、連携大学から受け入れた教職への意欲と適性を有する学生を、教員希望者が減少している新潟県や東日本の各地に、多様性のある教員として輩出していく役割を担うことで、学校教育に係る全ての教科はもとより、幼児教育、特別支援教育、臨床心理などを含む教員養成の拠点大学として、地域や社会に貢献することを目指しています。



東長岡技術科学大学長(左)と川崎学長  
濱田信州大学長(右)と川崎学長



文部科学大臣室にて



柴山昌彦大臣(右)と川崎学長

## 柴山文部科学大臣に川崎学長がインタビュー

2018年10月、第4次安倍内閣の発足により新たに就任した柴山昌彦文部科学大臣。現在53歳と働きざかりである大臣は、2019年5月に新時代を迎える日本の教育をどのような方向に導いていくのか、本学の川崎学長が2018年12月18日(火)にインタビューしました。

インタビューでは、現代日本の教育課題、教員定数の改善、大学と連携した教員研修、複雑化・グローバル化する社会の中で教員に求められる資質・能力、教職大学院の履修単位の弾力化など、様々な観点からお話を伺いました。

最後に、大臣から、教員を目指す方への応援、激励のメッセージをいただき、インタビューを終了しました。

なお、インタビューの詳細については、教職課程(2019年3月号・協同出版)に掲載されています。(本学ホームページ「注目情報」でもご覧いただけます。)

お問い合わせ先  
上越教育大学総合交流推進室  
(上越教育大学企画広報室内)  
〒943-8512 上越市山屋敷町1番地  
TEL 025-5221-3292  
FAX 025-521-3627  
E-mail kikin@uen.ac.jp

「上越教育大学基金」へのご寄附のお願い  
上越教育大学では法人としての財政基盤の強化を図り、本学における学生支援活動、教育研究活動等の推進を図ることを目的に、「上越教育大学基金」を設置しています。  
また、平成30年1月から「修学支援事業基金」を創設し、寄附を募っております。  
この基金は、学生の修学支援事業への個人からの寄附に対しては、従来の「所得控除」に比べ、減税効果の大きい「税額控除」が適用されることから、個人の寄附者にとって有利となるものです。  
「上越教育大学基金」を活用した活動として「修学支援事業」の他、「教育研究、地域貢献、国際交流等の各種事業」があります。なお、今年度は「創立40周年記念事業募金」を実施し、多くの方からご支援をいただきました。今後は「同記念事業も実施してまいります。」  
企業、団体、個人の皆様からの引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。  
ご寄附のお申込み  
(振込用紙によるご寄附)  
上越教育大学基金のホームページ「寄附申込フォーム」より、振込用紙をご請求ください。  
(現金によるご寄附)  
現金でのご寄附を希望される方はお手数ですが、お問い合わせ先までご連絡ください。

## 上越教育大学 附属小学校

# 今を生き明日をつくる 子どもが育つ学校



音楽集会  
「ライトダンス!乙」

2018年研究会が11月30日(金)に行われました。これまでの深緑の時期から晩秋に移動し、一日開催になるなど、大きく刷新された研究会となりました。  
4年次にあたる本年度の研究では、子どもが「探究」において教育活動のつながりをつくり、よりよく生きる自分をつくる姿を目指し、「感性」がはたらく教育活動の充実を副題として研究を進めてきました。  
音楽集会、12の活動公開、全体発表、リリース講演会という日程の中で、総勢595名もの方に研究会に参加いただきました。  
「感性」をテーマに掲げている研究の意匠や価値そして課題を講演会講師や多数の参加者から教示いただくことができ、大変有意義な一日となりました。



1-1 実践国語科  
「やぎさんかるた」



2-2 創造活動  
「にぎわい農園」



3-1 実践道徳  
「よいお客さんについて」

活動公開Ⅰ



協議会



4-2 創造活動  
「里山のしらべ」



6-1 実践社会科  
「近代高田史考」

活動公開Ⅱ

講演会講師  
鹿毛雅治様(慶應義塾大学教授)  
多田孝志様(金沢学院大学教授)  
林 泰成様(上越教育大学副学長)  
テーマ  
「感性」がはたらく教育活動における子どもと「材」と教師



リリース講演会



研究発表

修了生からの  
お便り



## 大学院での 素晴らしい出会い

私は、平成16年に大学院の学習臨床コース情報教育分野に入学しました。入学して驚いたことは、現職教員の学生がストリートマスターよりも多いことでした。自分は教師になりたいと思っただけでしたが、当時は全然、学校現場のことが分からなかったため、現職の皆さんとは本当に貴重な経験でした。特に自分の研究について、学校現場の目線でアドバイスをいただいたり、研究を含め、学校現場の様々なことを教えてもらえたりしたことは、とても有り難い機会でした。

現在、私は中学校で英語を教えています。中堅という立場になった今、自分が力を入れていることは、研究主任の仕事です。新学習指導要領に掲げられている「社会に開かれた教育課程」を目指し、キャリア教育を中心に据えたカリキュラム開発を学校の研究主題として取り組んでいます。

当校は平成30年度からパナソニック教育財団より、2年間の特別研究の指定を受け、活動助成金と大学教授によるアドバイスをいただきながら、研究を進めています。今回、iPadを14台購入(大小7台ずつ)し、授業や校外学習において、生徒がペア活動やグループ活動などで効果的に活用する実践に取り組んでいます。最近は部活動や生徒会活動など、授業外で生徒が自主的に活用する機会が

増えてきました。

上越教育大学に入って良かったと思うことは、今でも当時の経験が生かされていることです。2年間の学習で培った知識や、同じ情報分野の方々とのつながりが、本当に助けになっています。十数年経った今でも、それぞれの現場で活躍されている先生方と連絡を取り、関わらせてもらっています。最近では同じ研究室だった佐藤和紀先生(現在、常葉大学講師)との再会がきっかけで、研究フィールドに戻って学会や研究会で実践発表を行っています。

修了後もこうしてつながっていただける大学院での素晴らしい出会いに感謝し、今後も努力を続けていきたいと思っています。



山崎 寛山  
(やまさきのりたか)

新潟県長岡市出身。平成18年3月に学習臨床コース情報教育分野修了後、柏崎市立第一中学校非常勤講師を経て、新採用で新潟市立山崎中学校に着任。その後、上越市立清里中学校、糸魚川市立糸魚川中学校勤務を経て、現在は三条市立大島中学校勤務。研究主任、情報担当。免許は、英語(中高)、情報(高)、特支二種。現在、上越教育大学学校教育実践研究センター研究員、NHK ICT 研修ファシリテーター養成講座4期生、等。

## 大学院同窓会

### 大学院同窓会長就任のご挨拶

平成30年7月に開催された上越教育大学大学院同窓会評議会において、大学院同窓会長に選任していただきました。

上越教育大学は、これまで多くの優れた人材を育て日本の教育の発展に大きな足跡を残してきました。大学改革や少子化など大学を取り巻く大きな変化の中、これからの上教大の発展を大学院同窓会がどのように支援していくことができるのか。微力な私にとっても大きな責任ですが、川崎学長をはじめ大学ご当局の皆様、そして何よりも多くの大学院同窓生の皆様のお力をお借りしながら、誠心誠意努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

上越教育大学大学院同窓会  
会長 高橋 雅史



さて、平成30年度に上越教育大学は創立40周年を迎えました。人によっては「不惑」の40歳にあたります。この40年間の歳月は、大学関係者、学生・院生、地域の皆様、たくさんの方々の皆様の努力と研鑽によって造られてきた道のりだったと思います。そして今、大学改革という大きなうねりの中で、上越教育大学も専門職学位課程の充実など新たな目標設定とシステム構築による改革が進められています。

そのような改革の流れの中でこそ、「教育者としての使命感・人間愛・創造力あふれる教員の養成」という建学の精神を基盤として、新たな上越教育大学の道を切り開いていくこそが何よりも重要なのではないのでしょうか。

「不惑」とは「自己を確立し何事にも惑わされない」という意味、さらには「既定の枠組みに捉われない」という意味をもっているそうです。40年間にわたって果たし続けてきた、「教育界に優れた人材を送り出す」という使命を礎に、新たなビジョンとシステムを構築しながら大学改革に取り組む。「不惑」の年である今年こそが、上越教育大学にとって素晴らしい節目の年になることを期待してやみません。



大学院同窓会評議会で挨拶する高橋新会長

大学院同窓会も現役大学院在生への奨学金システムの拡充、大学院及び大学院同窓会の広報活動の充実等に取り組み始めました。この40周年を一つの機会として、上越教育大学との連携をより一層深め、大学の発展に少しずつでも寄与し続けていきたいと思っています。

そして、それは同窓会会員の皆様お一人一人の「大学愛」に支えられていることは言うまでもありません。

### 事務局からのお知らせ

井澤 文夫 前会長  
ご逝去のお知らせ

前会長 井澤文夫様におかれましては、病氣療養中のところ、平成30年9月18日にご逝去されましたので、ここに謹んでお知らせいたします。

井澤前会長におかれては、平成27年7月の会長就任から3年間にわたり、同窓会組織と大学との連携強化、各支部の活動活性化に向けた支援の拡充や、在学生、修了生に対する各種支援方策の充実などにご尽力いただきました。

改めて、ご尽力に深く感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。

詳細については、公式ホームページをご覧ください。

上越教育大学 同窓会 検索

お問い合わせ先 上越教育大学大学院同窓会事務局 E-mail:dousoukai@juen.ac.jp

# 退職教員から皆さんへ



## 「羽ばたく皆さんへ」

本学の学部を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、誠におめでとうございます。本学で研鑽された成果を自信として、それぞれの道で力を発揮することを期待しております。ほとんどの皆さんは、春から学校現場で教壇に立つことになると思いますが、人間を相手にする「教育という活動」では言うまでもなく、教師が最も大きな影響力を持ち、良い教師との出会いが、子供たちの未来を大きく左右するといっても過言ではありません。いつまでも子供たちの心に残るような思いやりのある教師となることを願っています。

平成30年(2018年)10月には本学も創立40周年を迎えました。記念式典や記念行事を行い、併せて記念の募金活動も行いました。集まった募金を基に今後10年間、奨学支援や、学校現場で頑張っている教員を対象に表彰する、本学初代学長名を冠した『辰野千壽教育賞』などに、これらのご厚志を借らせて頂く計画です。趣旨にご賛同頂きましてご寄付頂いた同窓生や後援会の皆様、大学関係者及び企業の皆様には心からお礼申し上げます。

本学が歩んできた40年の間に、教育の世界も大きく変わりました。最近では

Society5.0や第4次産業革命などと言われ、ICTやAI、ロボットなど科学技術の進歩には目を見張るものがあります。例えば、40年前には2足歩行ロボットの研究は始まったばかりで、下半身のみの重い、大きいロボットが平面を歩くこともままならない状況でした。その後軽いパワーのあるモーターや容量の大きいバッテリー、各種センサの開発、ロボットの上半身の重要性の認識、高性能の小型コンピュータの開発などにより飛躍的に進化し、現在ではジャンプしたり、宙返りするヒューマノイド型ロボットも製作されています。2050年にロボットのサッカーチームが人間のワールドカップ優勝チームと対戦して勝利するという『ロボカップ』の話もまんざら夢でもないかもしれません。

科学技術の進歩は教育現場にも大きな影響を与えています。タブレットパソコンや電子黒板は既に導入されていますし、これからはそれらを用いてすべての子供たちに、それぞれに応じた質の高い教育を提供することが求められることになるでしょう。教員自らが学び続けることによって、子供たちに学ぶ楽しさ・喜びを伝えてください。

最後に、寄居浜の光景から「海は荒海



学長 川崎 直哉

向こうは佐渡よ」の歌い出しで知られる童謡『砂山』を作詞した北原白秋が、言葉の大切さを唱った詩『ひとつのことば』を贈ります。卒業、修了して社会に羽ばたく皆さん、ご活躍をお祈りします。

ひとつのことばでけんかして  
ひとつのことばでなかなおり  
ひとつのことばで頭が下がり  
ひとつのことばで心が痛む  
ひとつのことばで楽しく笑い  
ひとつのことばで泣かされる  
ひとつのことばはそれぞれに  
ひとつの心を持っていく  
きれいなことばはきれいな心  
やさしいことばはやさしい心  
ひとつのことばを大切に  
ひとつのことばを美しく



自然・生活教育学系  
教授 伊達 文治

プロフィール  
2008年9月、准教授として着任。2011年10月、教授に就任。専門は数学教育学。

### 今、教師に求められているもの

それは教育の目的や意義を追求し続ける「教材研究力」、そして子供の心理のひだにも光を当て教育的価値の実現を援助できる「教育実践力」。本学は、この二つの力を培うことができる素晴らしい学び舎です。ここで皆さんと共に送った十年余りの研鑽の日々は、私の人生の宝です。皆さんのご健勝と本学のご発展を心より願っております。

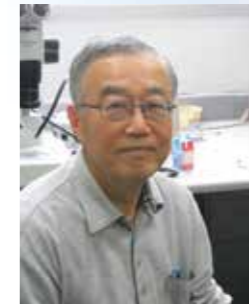


学校教育学系  
教授 廣瀬 裕一

プロフィール  
2008年4月、教授として着任。その後、副学長に就任。専門は宗教教育、学校運営。

### 50年後の世の中は

私達は、小・中学校の教科書が無償でなかった最後の学年です。50年前。へーえ、そんな時代もあったのか。50年後、へーえ、嘘と欺瞞が多いそんな時代もあったのか、と言えるような世の中になることを念じます。それを担うのは教育です。皆さんに期待。



自然・生活教育学系  
教授 天野 和孝

プロフィール  
1983年4月、助手として着任。講師、助教授を経て、2008年4月、教授に就任。その後、副学長を歴任。専門は古生物学。

### 36年間お世話になりました

昭和58年に助手として赴任して以来、あっという間に36年が経ってしまいました。楽しく過ごさせていただきましたが、「少年老い易く、学成り難し」の感があります。お世話になった教職員の皆様に感謝し、本学の益々のご発展をお祈りしております。



自然・生活教育学系  
教授 定本 嘉郎

プロフィール  
1984年5月、技官として着任。助手、助教授を経て、2016年4月、教授に就任。専門は物理学、物理教育。

### 思いつくままに

五九豪雪の年に大学に赴任してから、豊かな四季(梅も桜も同時に咲く春、蒸し暑い夏、短い秋、長いモノトーンの冬)のなかで35年程過ごしてきました。この間、教職員、学生の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。最近思うことは「大学こそ、知の遊び(ゆとり)が必要」ということ。





# インタビュー 大学院で輝く人

大学院(専門職学位課程)  
教育臨床コース1年

あおの ともりのり  
青野 友紀 さん

## 入学のきっかけ

工学部でIT技術について習得し、民間企業に就職して主にソフトウェアを開発していました。何年前に、社会人・学生の混成サークルを結成したのですが、サークルに参加いただいた高校生・大学生と接する中で、彼らの人としての成長について考えるようになりました。これをきっかけに教育に興味を持つようになりました。

職場は恵まれた環境だったと思いますが、今後自分が何をしたいのかをよく考えた結果、教員への転身を目指して上越教育大学に入学することにしました。

## 教職大学院について

現職教員の方やストレートマスターの方と共に切磋琢磨できる本当に良い環境です。また、教育系ではない民間企業の経験者も教職大学院の院生に数人いるので、私みたいな立場にはありがたいです。教育臨床

コースには数学教育を専門とする先生が在籍されているのも、数学科の免許を持っている私にとって魅力的でした。

教職大学院の学校支援プロジェクトでは、教員や先輩院生に助けられ、実際の学校現場に赴いて学校現場の要望に基づく実践的課題を一緒に考えることで、教員としての実践力を身に付けています。

また、Pプラ(プレイスマントプラザ)の論文・面接などの就職支援活動も就職を強力にサポートしてくれます。私はPプラに週1回通うことで論文・面接などの対策を行うことができました。今年は、前職の経験を生かした社会人向け特例枠を中心に就職活動を行い、某県より情報科の教員として正規採用内定通知をいただくことができました(修了時まで名簿登載延長)。

## さいごに

私は、実践的な学びができる教職大学院での学びを選んでよかったと

考えています。現職教員・ストレートマスターなどこれまでの経緯にかかわらず、本学大学院でいろいろな学びが得られると思います。また、社会人経験者である私は、教育訓練給付制度を利用することができて、経済的にも助かっています。後輩の皆さんにもぜひ頑張ってほしいと思います。



## インタビューを終えて

民間企業を辞めて教員を目指すことは、生半可な決意では到底できるものではなく、非常に勇気のいることだったと思います。人生100年の時代であり、興味を持ったことに挑戦することを大切にしたいと感じました。

### ■ 聞き手・文(写真左より)

大学院2年 教育臨床コース 川上 節夫  
大学院2年 教育臨床コース 戸田 紗央里  
(中央・本人)  
大学院2年 教育臨床コース 平片 萌果  
大学院2年 教育臨床コース 牛腸 賢一



アンケートにご協力ください

公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からもご回答いただけます。QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。